

算数教育改善プロジェクト-Sumo Primero-

4月10日、チリ教育省が主導し、チリ大学数理モデリングセンター（CMM）やバルパライソ・カトリカ大学（PUCV）等が連携する算数教育改善プロジェクトの式典がチリ大学で開催されました。

日チリ間の教育分野の協力関係には長年に渡る関係者の尽力があります。2004年の日チリ首脳会談において、新たに算数教育分野への協力を表明し、これを受けて、筑波大学磯田教授を中心とする同大学教育開発国際協力研究センターがJICAとの共同プロジェクトを開始しました。その後、磯田教授は、約20年にわたり、チリの算数教科書「Sumo Primero」の開発への協力をはじめ、本日までチリにおける算数教育の改善に大きく寄与してきました。

本プロジェクトでは、磯田教授、CMM、PUCVほかチリ全土の大学や教育機関等が協働し、日本の算数の教科書を参考に作成された Sumo Primero の教科書がチリの全ての小学校で活用され、算数教育改善の取組が進められていくことになります。今後も Sumo Primero がチリの教育を力強く支え、また、国境を越えた両国の連携が一層実りあるものとなり、チリの未来を担う子どもたちの学びを豊かにすることを期待しています。



伊藤大使挨拶



教育大臣ビデオメッセージ



磯田教授と CMM サロメ教授